

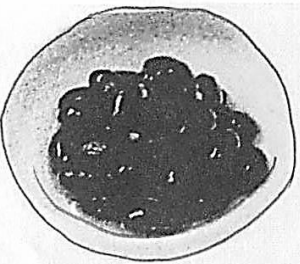
言語活動のモデル(例)

「なるほど!〇〇のひみつ図かん」

付きたい力や児童の興味を考え、指導者が作成しました。

いろいろなすがたになる大豆

名前



大豆には、いろいろな食べ方があります。

まず、大豆をそのままの形でして食べる工夫です。「大豆」といいます。にること、大豆がやわらかくなり、食べやすくなります。また、フライパンでいて食べる工夫もあります。「いり豆」といいます。火が通るとパリッとはごたえが出て、おいしく食べられます。せつぶんの時にまく豆がいり豆です。

次に目に見えない小さな生物の力をかりて、ちかいう食品にする工夫があります。なとうきんの力をかりたものが「なとう」です。むした豆に、なとうきんをくわえ、あたたかい場所に一日おくとできます。ネバネバしていて、とってもえいよりのある食べ物です。

さらに、取り入れる時期を工夫した食べ方があります。大豆をまだ緑色で、やわらかいうちに取り入れ、さやごとゆでて食べるのが「えだ豆」です。

このように、大豆は、いろいろな工夫をすれ、すがたをかえて食べられています。

